

タウンミーティング実施結果について

1 出席者

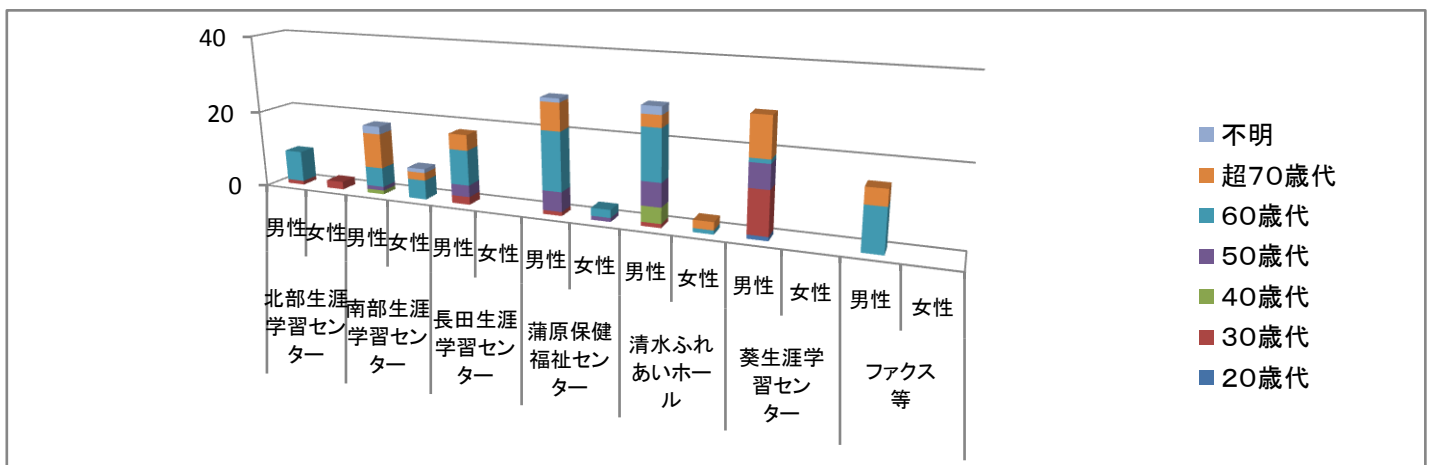
(人)

開催日	開催時間	会場	出席者数
7月5日(日)	10:00～12:00	北部生涯学習センター	19
7月5日(日)	14:00～16:00	南部生涯学習センター	36
7月10日(金)	19:00～21:00	長田生涯学習センター	38
7月11日(土)	10:00～12:00	蒲原保健福祉センター	79
7月11日(土)	14:00～16:00	清水ふれあいホール	51
7月16日(木)	19:00～21:00	葵生涯学習センター	34
		計	257

2 提案者 (延べ人数)

(人)

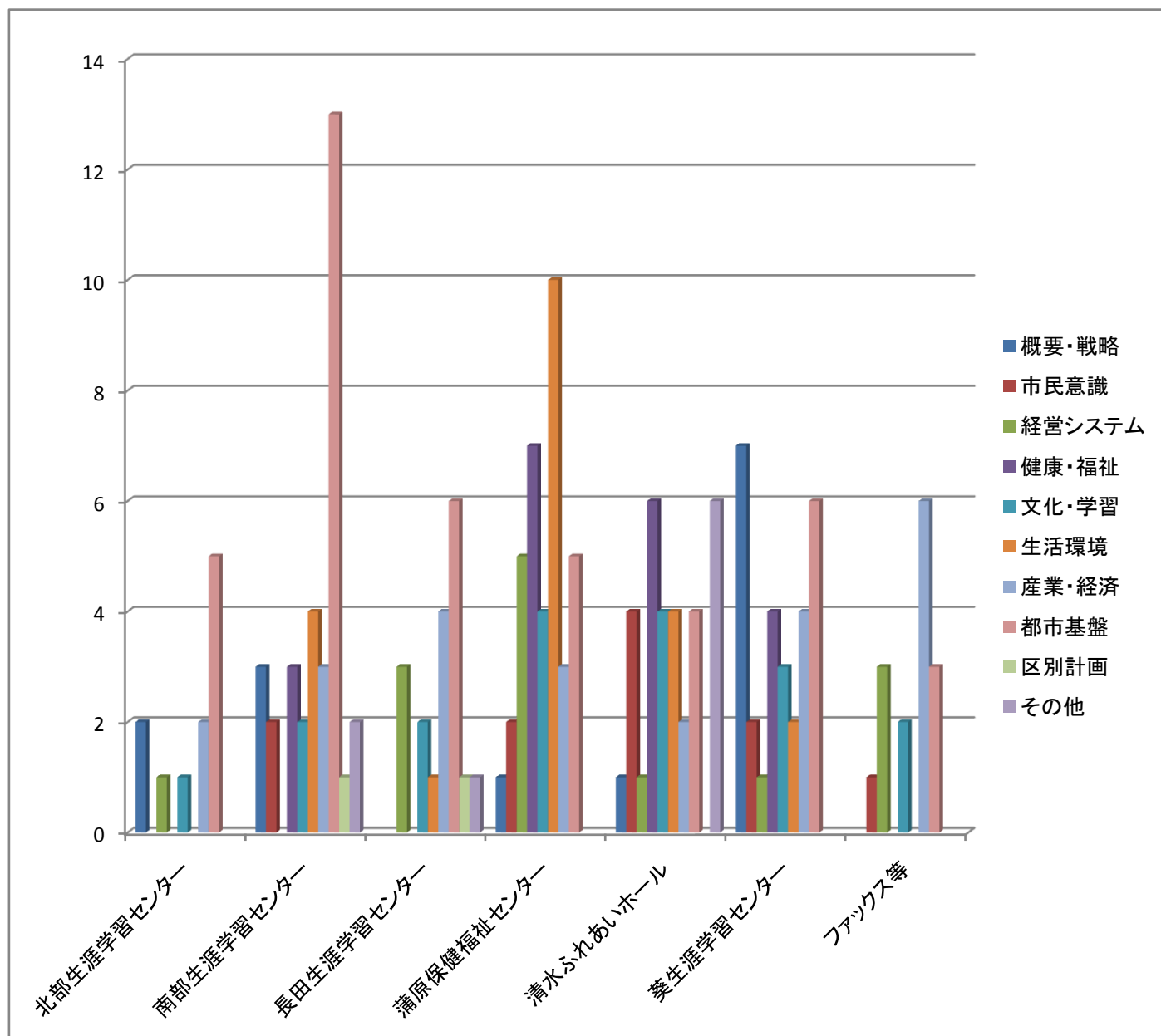
会場	性別	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	超70歳代	不明	計
北部生涯学習センター	男性		1			8			9
	女性		2						2
南部生涯学習センター	男性			1	1	5	9	2	18
	女性					5	2	1	8
長田生涯学習センター	男性		2		3	9	4		18
	女性								0
蒲原保健福祉センター	男性		1		5	15	7	1	29
	女性				1	2			3
清水ふれあいホール	男性		1	4	6	13	3	2	29
	女性					1	2		3
葵生涯学習センター	男性	1	11		6	1	10		29
	女性								0
ファクス等	男性					11	4		15
	女性								0
合計	男性	1	16	5	21	62	37	5	147
	女性	0	2	0	1	8	4	1	16



3 提案分野（延べ件数）

(件数)

会場	概要・戦略	市民意識	経営システム	健康・福祉	文化・学習	生活環境	産業・経済	都市基盤	区別計画	その他	計
北部生涯学習センター	2		1		1		2	5			11
南部生涯学習センター	3	2		3	2	4	3	13	1	2	33
長田生涯学習センター			3		2	1	4	6	1	1	18
蒲原保健福祉センター	1	2	5	7	4	10	3	5			37
清水ふれあいホール	1	4	1	6	4	4	2	4		6	32
葵生涯学習センター	7	2	1	4	3	2	4	6			29
ファックス等		1	3		2		6	3			15
合計	14	11	14	20	18	21	24	42	2	9	175



4 提案要旨

【北部生涯学習センター】

中山間地域への交通問題に対する意見や新東名に関する質問など、地域特性に関する意見があった。また、人口減少社会や超高齢社会に対応した施策の必要性など時代の潮流に対応した意見や、環状交通システムの提案など、静岡市全体を視野に入れた意見もあった。

- (1) 子どもを守り育てる環境を整備してほしい。
- (2) 住みやすい中山間地域にするため、アクセス道路、通学しやすい環境の整備をしてほしい。
- (3) 市全体を捉えた新交通システムを構築してほしい。
- (4) 観光トイレの整備など来訪者や市民が満足するまちづくりをしてほしい。
- (5) 高齢化社会に対応した将来を見据えた行政運営をしてほしい。
- (6) 新東名静岡インターの都市計画(構想)はどのようになっているのか。
- (7) 感動する静岡人をうみ出す社会をつくってほしい。
- (8) 「都市の顔づくり」静岡駅北口は、楽しい歩行者空間づくりを進めてほしい。
- (9) 市民が魅力を感じ、自信をもって紹介できる歴史・文化などの環境・施設を整えてほしい。
- (10) 歩行者や自転車が安心して行き交える道路網を整備してほしい。
- (11) 人口減少社会に対応した計画をつくってほしい。

【南部生涯学習センター】

大学や人々が集まる地域拠点を結ぶ公共交通ネットワークや道路網の整備に対する意見や、大学の活用など地域特性に関する意見があった。そのほか、静岡の特色を活かしたまちづくりに対する意見、生活者の視点や市民の役割も具体的に示した総合計画の策定を望む意見などがあった。

- (1) 駿河区の公共バスについて計画に盛り込んでほしい。
- (2) 駿河区の道路整備を進めてほしい。施設へのアクセスと一体的に進める。
- (3) 中心市街地活性化について、もう少し具体的に説明すべきである。
- (4) 静岡下島線、丸子池田線、東町高松線はどうなっているのか。
- (5) 都市景観を大切にしたい。広告の制限をしてほしい。
- (6) 静岡の特色を活かしたまちづくりを進めてほしい。
- (7) 総合計画に生活者の視点で地域のことをもっと盛り込んでほしい。
- (8) 有東地区に公園を整備してほしい。
- (9) 小鹿老人福祉センターの入浴料の有料化。
- (10) 環境低負荷型都市について、国の方針と統一してほしい。
- (11) 消費生活の安定と向上に関する市の対応を明確にしたい。
- (12) 区民懇話会の意見を総合計画に盛り込んでほしい。
- (13) 駿河区の資源として、学生から文化の発信をしてほしい。
- (14) 大学生からの文化発信をしてほしい。
- (15) 人間関係豊かな長寿のまちの確立のため、隣近所との関係について市もアドバイスしてほしい。
- (16) 公園周辺に駐車場が必要。公園は、子どももお年寄りも遊べる場所であってほしい。
- (17) もう少し詳しい資料がほしい。
- (18) 今以上に郊外のショッピングセンターは必要ない。
- (19) やめるものや制限するものも計画に盛り込むべき。また市民の役割も具体的に示してほしい。

- (20) 静岡空港を活かした観光策を充実してほしい。
- (21) 市民の声を吸い上げるのであれば、回答者の発言が少ないほうがよかった。

【長田生涯学習センター】

用宗海岸の活用策や安倍川駅前広場の整備など、地域特性に関する意見のほか、住民組織の活用、個性的な教育の必要性、交通体系の充実、茶農家への支援や街路樹、屋上緑化への「お茶の木」の利用など、全市を視野に入れた意見があった。そのほか、区の特徴が明確な区別計画の策定や、計画を確実に進捗管理できるシステムの必要性など、計画の内容や進め方に言及する意見もあった。

- (1) 用宗海岸に「海の家」などの施設を整備してほしい。
- (2) 個性を伸ばす教育をしてほしい。
- (3) 茶農家が生き残っていけるよう支援してほしい。
- (4) 長田地区に消防署の設置をしてほしい。また、南署の位置を西側に移設してほしい。
- (5) 地下鉄を整備してほしい。
- (6) 想定される主要事業は、実行性があるものにすべきである。
- (7) 安倍川駅前広場に、ベンチや木などがある公園を整備してほしい。
- (8) 連合自治会にもっと権限を与えてほしい。
- (9) 自治会連合会をもっと活用した方が良いと思うがどうか。
- (10) 歩行者や自転車が安心して行き交える道路網を整備してほしい。
- (11) 交通の便のよいところに、設備の整った音楽ホールを建設してほしい。
- (12) 木材チップをゴミと一緒に収集するシステムを作してほしい。
- (13) 丸子川から用宗港へ流すためのバイパスの計画はどのようになったのか教えてほしい。
- (14) 長田地区を歴史・文化の伝承、観光産業の発信の地域としたらどうか。
- (15) 区ごとが競いあい政策を提案してほしい。
- (16) 街路樹や屋上緑化に「お茶の木」を活用したらどうか。
- (17) 計画の進捗管理を確実に行うためのシステムをつくりを完全達成を目指してほしい。
- (18) 市中心部の緑地を市民のために公的な緑地にしたらどうか。

【蒲原保健福祉センター】

蒲原畑総内の土地利用、御殿山の土砂崩れなどの防災対策、豪華客船の清水港への寄港策など、地域特性のある意見のほか、二級河川の維持管理、対費用効果はないが地域生活としての道路整備、急病センターや蒲原病院の産科医不足など、生活・環境関連や、健康福祉関連の意見が多かった。

- (1) 安心して子どもを生み育てるための保育園と幼稚園の役割を明確化すべきである。
- (2) 赤字の解消について示されていない。
- (3) 実施計画が大事であるが、市民の意見を反映させる場があるのか。
- (4) 行財政改革について、数値目標は示す必要があるがどうか。
- (5) 蒲原の二級河川の維持管理を地元要望がなくても計画的に進めてほしい。
- (6) 蛭沢通線の整備について費用対効果だけでなく将来的な面も見据えて進めてほしい。
- (7) 通勤費の削減のため、市職員は居住区の区役所等に通えばよい。データを示してほしい。
- (8) 谷津沢川の清流保全について、河川の付加価値を高める努力を住民と話し合いながら進めてほしい。

- (9) 豪華客船を清水港に寄港させる方策をつくってほしい。
- (10) 地域の魅力を活かした観光・交流産業の高度化を進めるべき。
- (11) 蒲原畑総内の農地について市民農園として利用していく必要がある。
- (12) 富士川河川環境について、特に海浜環境対策についての市の考えを聞きたい。
- (13) 庵原高校跡地は、スポーツ合宿所として活用してほしい。
- (14) 旧役場跡地は災害時避難地、公園として活用を図ってほしい。
- (15) さった峠で落石があるため、安心して通行できるよう対応してほしい。
- (16) 新蒲原駅の橋上駅舎化、駅前交差点の3車線化をお願いしたい。
- (17) 由比蒲原地区の下水道の整備をお願いしたい。
- (18) 御殿山の土砂崩れ対策をしてほしい。
- (19) 急病センターの内容、病院としての位置づけはどのようなものか。
- (20) 医師不足に対する対応が望まれる。医師の派遣、産科、小児科、循環器科、開業医の招致など。
- (21) 診療閉鎖など蒲原病院で診療を受けられない現状がある。平等に医療を受けられるよう望む。
- (22) 災害時の具体的な対応策を多くの人に分かりやすい方法で作成してほしい。
- (23) 蒲原病院までの交通の便が悪い。旧由比町のコミュニティバスの延長を望む。
- (24) 若者たちの市民活動による地域づくりを実現してほしい。
- (25) 支所やサービスコーナーで、多様な住民相談に対応するよう、人員配置を充実させてほしい。
- (26) 連合自治会の近代化が必要だと思う。
- (27) 危機管理能力・体制整備について、最大限の投資をすべきである。

【清水ふれあいホール】

清水駅東口の文化センターの建設、興津駅周辺の開発と観光案内所等の整備、清水港の輸出入の拡大策、巴川の清流化など、地域特性のある意見のほか、特産品のプラモデルを活かした地域活性化、コミュニティづくりや市民と行政の具体的な協働策の提言、子育て支援策の必要性や医療体制の充実を求める意見などがあつた。

- (1) 東海地震に備えて防災公園を整備してほしい。
- (2) 地域防災力の強化に向けた計画をつくってほしい。
- (3) ローカル都市の魅力を磨く施策をつくってほしい。
- (4) 人口減少を食い止め、人口増加に向けた政策をつくってほしい。
- (5) 目標達成型の体系づくりをしてほしい。
- (6) 「活発に交流し価値をつくり合う自立都市」がわかりにくい、「価値」を具体的に示してほしい。
- (7) ペット政策を盛り込んでほしい。
- (8) 市民の音楽文化活動環境の整備をしてほしい。
- (9) 静岡プラモデルミュージアムをつくってほしい。
- (10) 乳幼児をあずけられる施設を整備してほしい。
- (11) 身の丈にあつた行政を展開してほしい。
- (12) 総花的な計画であり、現状分析とあるべき姿を見極めて施策を決めてほしい。
- (13) 興津駅の周辺整備と興津駅橋上化の整備をしてほしい。
- (14) 清水港のポートセールスを推進してほしい。
- (15) コミュニティづくりの施策を検討してほしい。
- (16) 行政と市民が一体化して取組む市民が誇れる美しまちづくりをしてほしい。

- (17) 急病センターの設置は、市内2極化にしてほしい。
- (18) 保育園と幼稚園が連携して幼児教育を推進してほしい。
- (19) 清水厚生病院の設備と医師の充実をしてほしい。
- (20) 安心した社会をつくるため医療を充実してほしい。
- (21) 病院で安心して子どもが産め、子育て環境が充実した施策をやってほしい。
- (22) 安心できる長寿生活を送るための基盤の整備をしてほしい。
- (23) 日本平動物園が旭山動物園より優れていることを知してほしい。
- (24) 巴川を清流化してほしい。
- (25) 清水地区の文化学習を生かした施策を展開してほしい。
- (26) 地震などによる避難場所を充実してほしい。
- (27) 東静岡地区の副都心は必要がない。次世代に負担させるべきではない。
- (28) 計画が総花的である。具体的施策を効果的に生み出す形にもっていくべき。また、市民や民間がやるべき事の役割の区分が必要である。
- (29) 中心市街地を示す交通標識の改善をしてほしい。
- (30) 誰もが自由で便利な交通アクセスをつくってほしい。
- (31) 市の施策を策定するときは、タウンミーティングを実施してほしい。
- (32) 富士山静岡空港は県民に負担がかからない経営をしてほしい。

【葵生涯学習センター】

産業活性化のための人材育成や中学校におけるクラブ活動の必要性など、将来の静岡を担う人材育成に対する意見があった。また、生活者の視点を大切にされた地域拠点のネットワーク化や自治会の活性化策、市民参加の促進策の必要性など、市民力を高める施策に対する意見や、戦略プロジェクトに対する意見、計画における財政負担の考え方などの意見があった。
なお、この会場では、地域に特化した意見などが少なかったことが特徴である。

- (1) 1次総の総括をしてから2次総を策定すべきである。また、財政負担を将来に残さないようにしてほしい。
- (2) 戦略プロジェクトの推進に当たり縦割り行政にならないようにしてほしい。
- (3) LRTの導入も含め、拠点間のネットワーク化を高齢者が移動しやすいようにしてもらいたい。
- (4) 人口減少社会を食い止める必要があるのではないか。
- (5) LRTを実現するのかしないのかはっきりしてほしい。
- (6) 市役所の土日開庁や金曜日の時間延長を検討してほしい。
- (7) 日本平のIC設置や空港へのアクセス整備を検討してほしい。
- (8) 新清水文化センターのホールごとの収容人数などについて再考してほしい。
- (9) 小中学生も選挙事務に参加したり、若者の自立を促す長期的団体活動を行ったらどうか。
- (10) 大家族手当の支給や減税ができないか。
- (11) 3人乗り自転車購入について、低所得者に対する購入費助成はできないか。
- (12) 地域の連帯感が重要であり、自治会の活性化が必要である。
- (13) 役所の職員の減少が著しく、市民サービスの低下につながっている。
- (14) タウンミーティングにもっと市民が参加するようにすべきである。
- (15) 県立大学に医学部を設置できないか。
- (16) 観光交流都市を目指すため、静岡を知り、語る人材の育成が必要ではないか。
- (17) 13の戦略プロジェクトの中で2と12は類似しているのではないか。

- (18) フィルムコミッションをもっと積極的に行うべきである。
- (19) 駿府城天守閣の再建に向けた取組を望む。
- (20) 中学校のクラブ活動を減らさないようにしてほしい。
- (21) お茶、マグロ、ホビーについて、世界のメッカとなるような戦略を講じてほしい。
- (22) 出産費用は、申請に基づく還付をするのではなく、病院が直接行政に請求してほしい。
- (23) 大家族化は、第一次産業のメリットが増え、産業の発展が期待できる。
- (24) 市が情報を発信するだけでなく、市民も情報を取りに行くようになるといい。
- (25) 財政の健全化に取り組むべきである。
- (26) 原案の策定プロセス、経緯などを示し、指定都市との比較、分析が必要である。
- (27) タウンミーティングにもっと市民が参加するよう策を講じるべきでないか。
- (28) 1次総の評価、現在の事業の見直しの必要性はどうなっているのか。
- (29) 新蒲原駅西側ガード下道路は、どのようになるのか、計画はあるのか。

【FAX等】

- (1) 長田西小西側の信号機のところに、「丸子宿」などの案内標識を設置してほしい。
- (2) 旧丸子宿の何処にどんな役割をした施設があったのか示す「丸子宿場」の案内板又は標柱を設置してほしい。
- (3) 生涯学習の場として、「(仮)丸子宿歴史資料館」を建設してほしい。
- (4) 「丸子城跡」について、復元に向けた調査の実施と、「丸子城」を復元してほしい。
- (5) 個々の職員の業務内容を書き出してみるなど、職員の業務の見直しを実施したらどうか。
- (6) 交通渋滞の緩和と企業誘致のメリットのため、村松辺りから三保NKK横に橋を架けたらどうか。
- (7) 財源不足を補うため、市職員の給与の見直しと「天下り」などの調査を行い、財源の有効利用を図るべきである。
- (8) 三保半島の工業地帯への企業誘致と、清水地区への企業誘致の困難性に対する調査を実施してほしい。
- (9) 安心して住める住みよいまちづくりには、コミュニティの強化が重要であり、住民の意識改革が必要である。
- (10) 観光資源を点ではなく面でとらえ、ルート化することが必要である。また、日本平の開発や企業誘致も実施すべき。
- (11) セキュリティ問題を検討した上で、家で各種証明等が取れるよう「電子都市静岡」を目指したらどうか。
- (12) 来年2月28日に開催する「丸子宿場祭(冬の陣)」に、「仮設トイレ」を設置してほしい。
- (13) 最近、街中に駐車場が目につくが、人々が行き交いやすい風格のあるまちづくりをお願いしたい。
- (14) 新蒲原駅から国道一号線へ繋がるガードを、歩行者も安全に通過できるよう改修をお願いしたい。
- (15) 観光資源について、観光に特化することなく、美術や歴史、伝承、伝説を有機的に結合して、文化的な観光資源としたらどうか。